

Shizuoka Tea to the World

(仮称)静岡市歴史文化施設プレ企画展
静岡茶、世界へ
(家康からオリムピックまで)

2021
2/20 (sat) ~ 3/14 (sun)

会期中無休 10:00~17:30(入場は17:10まで)

観覧無料

会場:静岡市民ギャラリー(静岡市役所静岡庁舎 本館1階)第1・第3展示室

主催:静岡市 企画制作:公益財団法人静岡市文化振興財団

Shizuoka Tea to the World

2021年に開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピックでは、静岡県内で自転車競技が開催されます。実は、静岡と自転車とお茶との間には、それぞれ深いつながりがありました。

近世(江戸時代)に江戸や大坂へ出荷された静岡茶は、近代に入ると海外へ輸出され、世界的なブランドとなっていきます。それを支えたのは、巴川の河口に栄えた近世の清水湊^{しみずみなと}と、近代に国際貿易港として整備された清水港^{しみずこう}でした。また、大正期から昭和30年代には、茶の見本缶を持った幹旋業者(才取り^{さいとり})が静岡市内の茶問屋街を自転車^{さいと}で疾走し、初夏の風物詩となっていました。

さらに同じころ、静岡市内には輸出用の茶を扱う外国商館が立ち並び、静岡は「国際都市」としての景観を見せるようになりますが、そのルーツは、大御所として駿府(静岡)に君臨した徳川家康の時代(江戸時代初期)にありました。

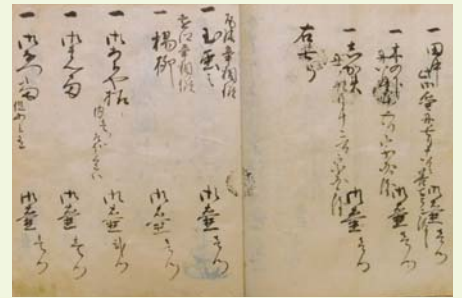
本展では、清水港から輸出され「世界のブランド」となった静岡茶の歴史を中心に、家康の時代から現代までの駿府(静岡)と世界とのつながりを紹介します。



牧之原茶園と静岡市を中心とする静岡県鳥瞰図(『茶の静岡県』静岡市所蔵)



茶箱の蘭字ラベル(静岡市所蔵)



慶長拾七子御茶詰候御渡申目録(個人蔵)

関連事業 会期:2021年2月20日(土)～3月14日(日)

清水郷土史研究会 活動紹介展示

駿河近郷 十二薬師めぐり

仏像探訪部会が調査した、清水区内にある12か所の霊場(十二薬師)をめぐります。

会場:静岡市民ギャラリー 第3展示室

※各事業は変更になることがあります。詳細は下記をご覧ください。
「歴史文化のまち静岡 さきがけミュージアム」ホームページ
<http://www.shizuoka-bunkazai.jp>

連携事業 会期:2021年2月20日(土)～3月14日(日)

静岡市民ギャラリー×フェルケール博物館 クイズラリー開催!

会期中に両会場に出されるクイズに解答した方に、抽選で粗品をプレゼントします。

フェルケール博物館

開館時間:9:30～16:30 休館日:毎週月曜日 観覧料:一般400円・
中高生300円・小学生200円(20名以上の団体20%引き、小・中学生は土曜日無料)
静岡市清水区港町2-8-11 TEL054-352-8060

※感染症対策のため、臨時休館になることがあります。
詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.suzuyo.co.jp/suzuyo/verkehr>

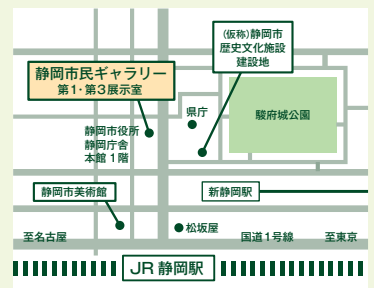
会場 静岡市民ギャラリー

静岡市葵区追手町5-1
(静岡市役所静岡庁舎 本館1階)

電車:JR静岡駅より徒歩10分、静岡鉄道新静岡駅より徒歩5分
バス:しずてつジャストライン「県庁・静岡市役所葵区役所」下車
※公共交通機関をご利用ください。

※専用駐車場はございません。
お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用ください。

2023年春、旧青葉小学校跡地に
(仮称)静岡市歴史文化施設が開館します!



お客さまへのお願い



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お問合せ ☎ 公益財団法人静岡市文化振興財団 事務局学芸課
〒420-0857 静岡市葵区御幸町4-1 アーバンネット静岡ビル4階
TEL 090-5611-3278(学芸課直通 平日9:00～17:00)